

---

◇高橋正和議員

○議長（森元淑雄） 次に、9番、高橋正和議員の一般質問を許可いたします。高橋正和議員、登壇願います。

（9番 高橋正和議員 登壇）

○9番（高橋正和） 連日のように新聞、テレビなどで報道されている熊対策についてであります。秋田県立大学の星崎教授が、人口減少、過疎化が甚だしい秋田県では、熊が人の生活圏に下りてくることを十数年前から警鐘を鳴らしておられたようですが、ついに現実のこととなりました。

秋田県で昨年発生した人身被害は、全国最多の70人でありました。そうした中、美郷町においては猟友会の皆様や役場職員の懸命の努力により一件の人身被害もなく、この場をお借りし、心より感謝申し上げます。

秋田県においては、今年も前年を上回る熊の目撃情報があり、人身被害も出ております。高齢化や過疎化が進む中、山林の手入れなども思うようになされておらず心配です。また、昨年の秋は、生活道路に柿を食べたと思われる排せつ物をよく見かけました。とても子供たちが外で遊べる状況にはありませんでした。山の食べ物が不足し、人里の柿や栗が熊を引き寄せた要因と思われます。

そうした中、柿や栗の木をこの際、伐採したいと思っている町民が多くおられるようですが、伐採には相当の費用が必要となります。なかなか踏み切れない現実があります。住民の声を踏まえ、熊が人の生活圏に近づかない対策の一つとして、放置された柿や栗の木を伐採すべく、その費用に対しての助成を速やかに実施すべきと思いますが、お考えをお伺いします。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己 登壇）

○町長（松田知己） ただいまのご質問にお答えいたします。

昨年度は本町においても熊の出没が相次ぎ、114件の目撃情報が寄せられ、79頭を捕獲するなど、例年をはるかに上回る出没状況でした。幸いにも議員おっしゃいましたとおり、人身被害はありませんでしたが、果樹を中心に61万円ほどの農業被害が発生しているところです。

異常出没の主な原因としては、熊の餌となるブナの実の不作などが考えられますが、今年度も同様に不作の場合、冬眠前の秋に実った栗や柿等を求めて人里への出没が懸念されるところです。

そうした中、議員ご指摘のとおり、住宅の敷地内等に放置された栗や柿などのいわゆる放任果樹を伐採することは、人の生活圏への熊の誘引を抑制する効果のある程度有しているものと認識しております。

ただし町では、放任果樹は基本的に個人が所有する財産であり、本来所有者が適正に管理する範囲の中で必要に応じて伐採すべきものと考えており、これまで伐採に対する助成制度は設けていないところです。

一方、既に新聞等で報道されているとおり、県においては現在、放任果樹の伐採に関する事業を市町村と協力して事業展開することを検討しているとのことで、町としては、県が支援制度を創設する以上、制度趣旨を踏まえた上で適切に対応していくことが望ましいと認識するところです。そのため、県が検討している制度内容の把握に努めるとともに、具体化された際には、町として早期に対応してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（森元淑雄） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

それでは、次の質問に移ってください。

○9番（高橋正和） 昨年、北秋田市では中学生が帰宅途中、熊に襲われました。美郷町でも小学生が山沿いの道路を1人で歩いて帰宅していたり、中学生が薄暗い道路を1人で自転車で帰宅する姿をよく見かけます。熊との遭遇を考えると非常に心配です。美郷町の各学校においては、熊と遭遇したときの対処方法について、どのようにすべきと教えておられるか、お伺いします。

また、熊用の鈴とか撃退用スプレーとかのニュースも聞きますが、今後、美郷町においては、どのようにして町の宝である子供たちの安全を確保していくのか、お伺いします。

○議長（森元淑雄） 答弁を求めます。教育長、登壇願います。

（教育長 栗林 守 登壇）

○教育長（栗林 守） ただいまのご質問にお答えします。

熊との遭遇を防ぐ対策として、県内で熊鈴を児童生徒に配付しているのが4市町村、今後予定しているのが1市1村のようです。熊鈴に関しては、山の中では効果はあるが、住宅地に下りて人間や騒音に慣れた熊には逆効果となる指摘や、市街地などでは鈴の音がうるさいという住民からの苦情があるなど様々な意見があるため、町としては現段階での配付は考えておりません。

また、熊撃退スプレーについては、美郷中学校の屋外で活動する運動部が以前より携行しながら活動しておりましたが、現時点で町内全ての小中学校、こども園及び放課後児童クラブに配備しております。熊撃退スプレーは使用上の注意が必要で、誤った使い方によっては事故につなが

りかねないため、児童生徒個人に配付する予定はありません。

児童生徒の登下校時の熊対応ですが、当町では熊出没の際は、状況に応じて学校から保護者へ緊急メールを発信し、小学校では保護者によるスクールバス乗降所での見届け、スクールバス利用以外の児童については保護者による送迎を実施しております。また、中学校でも熊の目撃情報をもとに保護者による送迎の対応をお願いするなど、熊出没時の緊急体制は整っていると認識しているところです。

熊による人身被害防止対策として、まずは熊の生態を知ること、熊との遭遇を防ぐためにできること、万が一遭遇してしまったときにできることなどを児童生徒が正しく理解することが大切であるというように考えます。

千畑小学校では、先月、県自然保護課の専門員3名を講師に迎え、全校児童を対象に熊に対する対応や理解を深める講座を実施しました。あわせて、保護者に対して熊出没時の学校からの緊急メール受信、保護者による登下校の送迎、スクールバス乗降時の見届けなど、ご理解とご協力をいただくよう改めて依頼をしております。今後、六郷小学校や仙南小学校でも同様の講座を予定しており、美郷中学校でも講座開催を検討しているところです。

以上です。

○議長（森元淑雄） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、9番、高橋正和議員の一般質問を終わります。